

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3591600170		
法人名	社会福祉法人 健仁会		
事業所名	グループホーム 咲花（南ユニット）		
所在地	山口県山陽小野田市大字厚狭字埴生田503番1		
自己評価作成日	平成25年3月21日	評価結果市町受理日	平成25年10月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内
訪問調査日	平成25年4月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「皆に優しく 共に楽しく」地域の中でいつまでも自分らしく生活していける・・・の理念の基に、その方らしい生活が送られるように支援しています。施設周辺には、大型スーパーや本屋さん、地元の商店街や神社、また桜並木が美しい散歩コースがあり、自然に囲まれた活気のある生活環境になっています。朝日や夕日の見える大きな窓や、ユニットを挟んで広いウッドデッキの広さがあり、天気の良い日は、そこで洗濯物を干したり、日向ぼっこや植木の手入れ等、自然の光や風を感じられ、開放的な空間となっています。地域とのつながりを大切に、自治会に毎月1回、事業所便りを閲覧させて頂き、事業所の文化祭お餅つき大会や避難訓練に地域の方へ参加のお誘いをしています。最近では、地域の方からの声かけも増えており理解、協力も深まっています。季節ごとのお祭り等の地域行事への参加、なじみの商店街への買い物、また保育園の節分行事等に参加し、そこでは昔なじみの方との交流の場にもなっています。利用者様の「できる力」や「意欲」を大切に、洗濯や掃除と一緒にして頂いています。季節のお菓子作りや漬物作りでは私達の先生となって下さり役割のある生活を送って頂いています。利用者様立ち上げのサークルは、体操会、歩こう会などがあり利用者様同士の声かけで積極的に活動されています。様々な場面で安心・安全に配慮しながらお一人お一人が主役となって頂けるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は職員に評価の意義を説明され、評価項目に関するアンケートを実施し、理解が深まるよう取り組んでおられます。全職員で自己評価に取り組んでおられ、職員は自己のケアを振り返り、より深く考え、より極め細やかな支援を目標とするなど自己評価を活かして一人ひとりがサービス向上に努めておられる他、応急手当や初期対応の訓練について、「応急手当推進委員会」を立ち上げられ、実践的な訓練を重ねる仕組みを作られるなど、評価を活かして具体的な改善に取り組んでおられます。事業所理念や4つの行動目標を名札に掲載し、日々のケアが理念に沿っているかを常に意識して実践につなげておられます。入居時には家族からの情報も含めて「寄り添い表」に記入し、日々の関わりの中での本人のこぼれや様子を「つぶやきシート」に記録して、本人の思いや意向、馴染みの関係等を把握し、「その人を知る」よう努めておられ、活躍できる場づくりや楽しみ事の支援、日常の外出支援、馴染みの関係支援など、利用者が自分らしく生活できるよう支援しておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3591600170		
法人名	社会福祉法人 健仁会		
事業所名	グループホーム 咲花 (北ユニット)		
所在地	山口県山陽小野田市大字厚狭字植生田503番1		
自己評価作成日	平成25年3月21日	評価結果市町受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ケアの4つの柱「横に座る その人を知る 嘘をつかない ゆっくりと穏やかに」を支援の方針とし、接遇研修では挨拶や言葉使いを学び、尊厳を大切に利用者様と日々接しています。月2回の法人基礎研修会や月1回のグループホーム勉強会、また外部研修に参加し、介護の基本やケアの質の向上に向けて取り組んでいます。法人で応急手当推進委員会が立ち上がり職員全員が日常的に訓練を受け利用者様の安心、安全な暮らしを支えています。施設1階には有床診療所があり、体調不良や健康面の不安にはすぐに応えられるようになっていきます。診療科目には整形外科やリハビリ科もあり、利用者様の状態や本人・ご家族のご希望に沿って療法士によるマンツーマンの医療リハビリやレッドコードを使っている運動療法が日常生活の中で受けられるようになっており医療機関を退院後などでも住み慣れたグループホームでの生活の継続が出来るように支援しています。また、週に1回の訪問診療と訪問看護、月に4回の歯科医等による口腔ケアのサービスも受けられ、様々な医療ニーズに対応できるようになっています。また、生活の中で季節を感じていただけるように、梅やバラ、菖蒲や紫陽花などのお花見、中庭でのビアガーデンやスイカ割、おはぎ作りや寒餅作りなど季節に馴染んだ行事を計画しています。お部屋で過ごされる時間が多い方でも、ベッドで横になられたまま外の景色が楽しめるように、ベランダの囲いは透明になっており、春には満開の桜並木が見渡せます。年に3回の家族会や年2回のアンケートを実施、事業所行事への参加、ケアの相談など、ご家族とも近い距離で利用者様の生活を支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
南	1 (1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時や会議の時に、皆で理念の唱和を行っている。また、書類にはケアの4つの柱を印字し、名札の裏には理念の紙を入れており、常に意識し日々の寄り添いやケアプランの中で理念の実践を行っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくり、4つの行動目標と合わせて事業所内に掲示する他、事業所だよりや名札に掲載し、朝礼時やユニット会議で唱和し、共有して確認し、理念の実践につなげている。	
	1 (1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時や会議の時に、皆で理念の唱和を行っている。また、書類にはケアの4つの柱を印字し、名札の裏には理念の紙を入れており、常に意識出来るようにし日々の寄り添いやケアプランの中で実践につなげている。		
南	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くのスーパーや商店街に買い物に出かけたり夏祭りや秋祭り納涼祭に参加している。また、近くの保育園から夕涼み会や餅つき、節分行事のお誘いがあり園児と交流している。行事で作ったお菓子を差し入れたり、地域の方が地域行事の案内を持って来て下さる。	自治会に加入し、地域の夏祭りや秋祭り、納涼祭に利用者と一緒に参加している。管理者や利用者は、地域の人と散歩時に日常的に挨拶を交わし、飼育しているめだかを貰ったり、近所のスーパーや商店での買物時に挨拶を交わし、野菜の差し入れがあるなど日常的に交流している。事業所主催の文化祭や餅つき大会、法人主催のコンサートや講演会等の参加者や法人施設利用者、地域の人やボランティア(歌、日本舞踊)で来訪する人と交流している。保育園の行事に招かれ、利用者は手作りの菓子を持参し交流している。	
	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くのスーパーや商店街に買い物に出かけたり夏祭りや秋祭り納涼祭に参加している。また、近くの保育園から夕涼み会や餅つきや節分行事のお誘いがあり園児と一緒に盆踊りに参加したり餅を丸めたりしている。事業所の行事には地域の方が手伝いに来て下さり、利用者様と一緒に参加されている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3	南	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて地域の代表者に事例を通して認知症の症状や支援方法を質問にお答えしながらお伝えしている。また、地域行事や事業所の行事の際に、利用者様と関わっていただきご理解をいただいている。		
3	北	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて地域の代表者に事例を通して認知症の症状や支援方法を質問にお答えしながらお伝えしている。また、地域行事や事業所の行事の際に、利用者様と関わっていただきご理解をいただいている。		
4	南	(3) ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	会議でその目的意義を伝え理解してもらっている。前年の課題に対して具体的な方法を考え改善に取り組んでいる。自己評価票を全員に配布し、各自記入してもらっている。	管理者は、勉強会で職員に評価の意義を説明し、自己評価をするための書類に全職員が記入し、管理者とユニットリーダーでまとめた後、話し合いを行うなど全員で自己評価に取り組んでいる。職員へ評価項目に関するアンケートを実施し、理解を深める他、自己評価を通して、職員一人ひとりがケアの実践について考え、支援に取り組んでいる。法人で応急手当推進委員会を立ち上げ、法人や事業所の研修で実践的訓練を行なうなど、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	
4	北	(3) ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	勉強会で評価の意義を理解してもらっている。自己評価は全員に配布し会議等で話し合いながら各自記入してもらっている。前年度の評価については具体的に方法を考え改善に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、自治会長、民生委員、市役所職員、ご家族代表また防災や応急手当がテーマの時には消防署職員や応急手当普及委員の法人職員等が参加している。状況報告、活動報告を行い意見交換をしている。近所の保育園の情報交換の橋渡しになって下さったり、事業所行事のご案内をしたら手伝いに来て下さった。災害時には協力をお願いをしている。	議題に合わせて消防署職員や市危機管理室職員等の参加を得て、2ヶ月に1回開催している。現状報告や活動報告、外部評価等の報告をして、意見交換する他、地域行事や防災などについて情報交換を行っている。参加メンバーにアンケートを実施し、年間のテーマを決めて認知症や地域防災、介護技術などの研修を行なっている。事業所行事にメンバーの参加や協力を得たり、地域の保育園児との交流やめだかの飼育など利用者の楽しみが増える提案をサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、自治会長、民生委員、市役所職員、ご家族代表また防災や救急がテーマの時に消防署職員、応急手当普及委員の職員が参加している。状況報告、活動報告を行い意見交換をしている。近所の保育園の行事や地域行事の情報を提供して下さったり間を取り持っていたり、事業所行事の協力が得られたりしている。		
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議では市役所職員へ状況報告を行っている。市役所であるケアマネ勉強会に参加している。認定調査の際に地域包括の職員と情報交換をしている。地域包括の方から勉強会のお話をいただいたりしている。	市担当課や地域包括支援センターと、運営推進会議の他、ケアマネ勉強会出席時や認定調査時、電話、メール、直接出向くなどして相談し助言を得たり、情報交換するなど、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議では市役所職員へ状況報告を行っている。市役所であるケアマネ勉強会にも参加している。認定調査の際に地域包括の職員と情報交換をしている。地域包括の方から勉強会のお話をいただいたりしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し方針を決めている。また、勉強会では事例を通して拘束について考えてもらっている。接遇研修では言葉使いについて指導しスピーチロックにならないように取り組んでいる。	マニュアルがあり、研修で学び、全職員は身体拘束をしないケアを正しく理解している。スピーチロックについては職員同士が注意し合い、会議で話し合っている。玄関には家族の了解を得て来客を知らせるチャイムを設置しているが、利用者が外出したいときには職員と一緒に出かけるなど、拘束をしないケアに取り組んでいる。	・玄関の施錠についての検討
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し方針を決めている。また、勉強会では事例を通して拘束について考えてもらっている。接遇研修では言葉使いについて指導しスピーチロックにならないように取り組んでいる。		
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成しており法律を含めて虐待について学ぶ機会を設けている。身体的拘束と合わせて接遇や事例検討で虐待について考えてもらい日々のケアの見直しをしてももらっている。また、職員間でも不適切な声かけや対応が行われていないか注意をし合っている。		
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成しており法律を含めて虐待について学ぶ機会を設けている。身体的拘束と合わせて接遇や事例検討で虐待について考えてもらっている。また、職員間でも不適切な声かけや対応が行われていないか注意をし合っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	南	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会で学ぶ機会を設けている。現在、制度を利用している方はおられないが必要に応じて支援ができるようにしている。		
9	北	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会で学ぶ機会を設けている。現在、制度を利用している方はおられないが必要に応じて支援ができるようにしている。		
10	南	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には時間をかけて重要事項説明書及び契約書の説明を行い、その都度質問を受けながら入居に対しての不安や疑問にお答えしている。重要事項の改定前には文書でお知らせし事前に理解がいただけるようにしている。また、退居の際も不安な点があれば相談員に対応してもらっている。		
10	北	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には時間をかけて重要事項説明書及び契約書の説明を行い、その都度質問を受けながら入居に対しての不安や疑問にお答えしている。重要事項の改定前には文書でお知らせし事前に理解がいただけるようにしている。また、退居の際も不安な点があれば相談員に対応してもらっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や 処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望 を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	要望相談窓口を設けており、重要事項説明 書に明記、また玄関に掲示している。年に2 回予定のアンケートでご家族から意見をいた だき、咲花メールで内容、回答を公表してい る。また、面会時にはお茶をお出しし世間話 から要望までお話ししやすい雰囲気作りに 努め要望が出た際は連絡帳にて全員に回 覧し管理者はすぐに対応がとれるように会議 等で検討している。	相談、苦情の受付体制や第三者委員を明示 し、契約時に家族に説明し、玄関に掲示して 周知している。家族の面会時や年3回の家族 会、運営推進会議参加時、行事参加時の 他、年2回アンケートを実施して意見や要望 を聞いている。意見や要望は連絡帳に記録 し、職員間で共有している。小遣いを使わな い月でも家族へ報告することや、レッドコード (全身運動)を介護計画に導入するなどの意 見を運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や 処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望 を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	要望相談窓口を設けており、重要事項説明 書に明記、また玄関に掲示している。年に2 回予定のアンケートでご家族から意見をいた だき、咲花メールで内容、回答を公表してい る。また、面会時にはお茶をお出しし世間話 から要望までお話ししやすい雰囲気作りに 努め要望が出た際は連絡帳にて全員に回 覧し管理者はすぐに対応がとれるように会議 等で検討している。		
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の各ユニット会議を開催し意見が出せ る機会を設けている。意見はすぐに取り上げ 運営に反映させている。便座ヒーターや掃 除道具の購入に至っている。	管理者は、月2回のユニット会議で意見や提 案を聞く機会を設けている他、日頃から職員に 声をかけ、意見を言いやすい雰囲気をつく り、意見や提案を聞いている。便座ヒーターの 設置や玄関チャイムの設置、居室用掃除用 具の購入、職員の希望を考慮した勤務体制 など、職員の意見や提案を運営に反映させて いる。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の各ユニット会議を開催し意見が出せ る機会を設けている。業務改善の必要があ れば会議で話し合い、その都度見直しをし ている。意見はすぐに取り上げ運営に反映さ せている。便座の取り換えや玄関チャイムの 設置に至っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	南	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務、公休希望はなるべく取り入れてシフトを組むように配慮している。能力や資格に応じた手当もある。職員一人一人に係や月リーダーとなってもらい責任を持つことで自信や向上心につなげている。月リーダーは月に1回ユニット目標を決め実践することでケアの質向上に向けて取り組んでいる。月2回のユニット会議では議長になってもらっている。休憩時間を設け、ストレスをため込まず働けるようにしている。		
13	北	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務、公休希望はなるべく取り入れてシフトを組むように配慮している。能力や資格に応じた手当もある。職員一人一人に係や月リーダーまた、会議の議長となってもらい責任を持つことで自信や向上心につなげている。月リーダーは月に1回ユニット目標を決め実践することでケアの質向上に向けて取り組んでいる。休憩時間を設け、ストレスをため込まず働けるようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめ、新任研修、月2回の法人基礎研修、月1回のGH勉強会を実施している。また、外部研修にも参加しており、参加者はレポートを提出し全員に回覧し、知識や技術の向上につながっている。また、新人職員に対してはベテランスタッフが付き介護技術等を働きながら教えられるようにしている。	外部研修は情報を伝え、勤務の一環として受講の機会を提供し、受講後は、復命報告書を回覧し、ユニット会議で発表するなど全職員が共有している。毎月2回の法人研修に全職員が受講の機会を得られるようにしている。内部研修は年間計画をもとに月1回実施し、管理者や計画作成担当者、訪問看護師が指導者となり、認知症についてや事故発生時の対応、身体拘束について、高齢者虐待、災害対策、個人情報とプライバシー、ケアプラン、自己評価と外部評価等について実施している。新人職員は法人の基礎研修を受けた後、日々のケアの中で先輩職員から介護技術を学んでいる。資格取得の支援もしている。	
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめ、新任研修、月2回の法人基礎研修、月1回のGH勉強会を実施している。基礎研修はポイント制になっており、ボーナスに反映されるようになっていいる。また、外部研修にも参加しており、参加者はレポートを提出し全員に回覧し、知識や技術の向上につながっている。また、新人職員に対してはベテランスタッフが付き介護技術等を働きながら教えられるようにしている。		
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修やグループホーム連絡会の会合に参加している。お互いの情報や意見交換を行うことでサービスの質の向上に取り組んでいる。		
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修やグループホーム連絡会の会合に参加している。お互いの情報や意見交換を行うことでサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16 南	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談や見学の機会を設けている。その際に、本人の不安や要望をお聴きしお話をすることで安心していただけるように努めている。			
16 北	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談や見学の機会を設けている。その際に、本人の不安や要望をお聴きしお話をすることで安心していただけるように努めている。			
17 南	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設サービスの問い合わせには法人相談員が丁寧に対応しており、契約時には時間をかけてお話しし、ご家族の不安や要望をお聴きしている。			
17 北	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設サービスの問い合わせには法人相談員が丁寧に対応しており、契約時には時間をかけてお話しし、ご家族の不安や要望をお聴きしている。			
18 南	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族がまず何を必要とされているのかを相談員、管理者が連携をとり生活の場としてグループホームが良いのか、どのような支援が必要なのか他のサービス利用を含めた相談を行っている。			
18 北	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族がまず何を必要とされているのかを相談員、管理者が連携をとり生活の場としてグループホームが良いのか、どのような支援が必要なのか他のサービス利用を含めた相談を行っている。			

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	南	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の様々な場面で一緒に行動を共にしている。かき餅の作り方や、巻き寿司の巻き方、お花の名前、礼儀など人生の先輩として教わるが多々ある。一緒に台所仕事をしたり、掃除をしたり感謝の気持ちをお伝えしながら暮らしている。		
19	北	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の様々な場面で一緒に行動を共にしている。かき餅の作り方や、巻き寿司の巻き方、お花の名前、礼儀など人生の先輩として教わるが多々ある。一緒にお菓子や漬物を作ったり、掃除をしたり感謝の気持ちをお伝えしながら暮らしている。		
20	南	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診の支援や衣替えなどご家族にお願いしている。毎日のように面会に来られる方もあり車いすで散歩に行かれたり、美容師の娘様にパーマをかけてもらったりしている。また、不穏時の対応などスタッフと一緒に考えていただいている。事業所の行事にお誘いしている。毎月、利用料請求書郵送の際に写真や事業所便りを同封し、事業所での生活をお知らせしている。		
20	北	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や行事にお呼びしている。遠方のご家族も定期的に面会に来られ買い物等にお連れしていただいている。また、なかなか面会に来られない方もお手紙で日ごろの様子をお伝えしたり電話で要望をお聞きしたりしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの友人が訪ねてこられる事も多くある。商店街や地域行事には地元のご友人と遭遇されることも多くお互いが懐かしまれている。外出の際は、馴染の土地に出かけたりしている。	家族や友人、知人、教え子の来訪がある。家族の協力を得て、友人宅への訪問、法事や親戚の集まりへの出席、娘の美容院でパーマをかけるなど馴染みの場や人に会いに出かけている。職員は、入居時に寄り添い表を作成して、本人の馴染みの関係を把握し、外出時に懐かしい場所をドライブで回ったり、子どもの帰省に合わせて外泊の支援をするなど、馴染みの関係継続の支援をしている。	
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの友人が訪ねてこられる事も多くある。商店街や地域行事には地元のご友人と遭遇されることも多くお互いが懐かしまれている。ご家族に協力していただき友人に会いに行かれる方もいらっしゃる。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングの席は相性を考えて決めている。また、コミュニケーションがとりづらい方の間にはスタッフが入り話を取り持つこともある。読んでいた本を譲ってあげたり、気の合う方とは居室でゆっくりお話しされている。互いに気遣う場面が多くある。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングの席は相性を考えて決めている。また、コミュニケーションがとりづらい方の間にはスタッフが入り話を取り持つこともある。利用者様同士の声の掛け合いで家事や運動をされたり、他の方を気遣われる場面も見かける。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	南	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後は思い出アルバムを作成しお渡ししている。入院された後も法人の相談員が病院関係者と連絡を取り合い退院後の相談支援を行っている。法人内の施設に行かれた方に会いに行ったり、リハビリを終えられ再入居された方もおられる。		
23	北	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後は思い出アルバムを作成しお渡ししている。入院された後も法人の相談員が病院関係者と連絡を取り合い退院後の相談支援を行っている。法人内の施設に行かれた方に会いに行ったり、リハビリを終えられ再入居された方もおられる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	南	(11) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で意向や思いにつながる言葉があればつぶやきシートを活用しケース記録に記入し思いに添えるように努めている。記録は紫のマーカーを引きケアプラン変更時期に再度見直しを行っている。また、困難な場合は表情や態度で把握するように努めている。	家族からの情報や本人の思いや意向を「寄り添い表」に記録している。日々の本人の言葉や様子を「つぶやきシート」に記録し、希望や意向をケース記録に記入して、色分けをし職員間で共有して、思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、表情や態度からサインを見逃さないよう工夫して本人本意に検討している。	
24	北	(11) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で意向や思いにつながる言葉があればケース記録に記入し思いに添えるように努めている。記録は紫のマーカーを引きケアプラン変更時期に再度見直しを行っている。言語でのコミュニケーションが困難な方にはジェスチャーを使用したり、場面ごとの表情で意向の確認をしている。		
25	南	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に聴き取りをしている。また、ご家族から聞く話や会話の中で新しい情報があれば随時追記し今までの生活を把握できるように努めている。		
25	北	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に聴き取りをしている。また、ご家族から聞く話や会話の中で新しい情報があれば随時追記し今までの生活を把握できるように努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	南	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に1日の様子を記録している。3カ月に1回のケアプラン見直し時期には再度アセスメントを行い心身の状態変化を把握するようにしている。また、個人連絡帳には体調変化や生活の変化を随時記入しており、職員全員が確認把握できるようにしている。		
26	北	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に1日の様子を記録している。3カ月に1回のケアプラン見直し時期には再度アセスメントを行い心身の状態変化を把握するようにしている。また、個人連絡帳には体調変化や生活の変化を随時記入しており、職員全員が確認把握できるようにしている。		
27	(12) 南	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは3カ月に1回の見直し時期を設けその都度ご家族、本人の要望をお聴きし、プランに反映できるようにしている。遠方のご家族には電話でご要望をお聴きしている。また、状態変化があった場合は随時プランの見直しを行っている。	本人や家族の思いや意向、主治医や訪問看護師等の意見を参考にして話し合い、介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しを行なっている。月に5、6回ケアカンファレンスを実施し、利用者の担当職員と意見交換をして計画に反映させている。状態に変化があればその都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	
27	(12) 北	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは3カ月に1回の見直し時期を設けその都度ご家族、本人の要望をお聴きし、プランに反映できるようにしている。遠方のご家族には電話でご要望をお聴きしている。また、状態変化があった場合は随時プランの見直しを行っている。必要に応じて看護師と話し合いを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	南	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子はケース記録や生活の記録に記入している。本人、ご家族の要望が分かるように色分けをしており、3カ月に1回のケアプラン見直し時期に活かしている。個人連絡帳にも気づきや変化を記入し統一した対応ができるようにしている。		
28	北	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子はケース記録や個人ノート、生活の記録ファイルに記入し職員間で情報を共有している。ケース記録は、本人とご家族の要望が分かるように色分けをしており、3カ月に1回のケアプラン見直し時期に活かしている。個人連絡帳にも気づきや変化を記入し統一した対応ができるようにしている。		
29	南	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方に住まれているご家族の代わりに受診の付き添いをしている。施設1階にあるレッドコードを使って運動療法もしている。希望があれば医療リハビリを送迎付きのマンツーマンで実施出来る。家族会ではバス旅行をしたり、住み慣れた地区へドライブへ行ったりしている。協力医療機関との連携で24時間オンコール体制で看護師、医師との連絡相談ができるようになっている。		
29	北	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方に住まれているご家族の代わりに受診の付き添いをしている。家族会ではバス旅行をしたり、住み慣れた地区へドライブへ行ったりしている。施設1階のレッドコードを使用し運動療法を行っている。協力医療機関との連携で24時間オンコール体制で看護師、医師との連絡相談ができるようになっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	南	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方がもち米を下さり一緒に餅つき大会を行った。自治会長さんが利用者様の楽しみになればとメダカを寄付して下さった。		
30	北	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方と一緒に餅つきをしている。また、利用者様の楽しみになればと自治会長さんがメダカを寄付してくれた。ボランティアの合唱や舞踊にも来てもらい一緒に歌ったり踊ったりしてる。		
31	南	(13) ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択は自由だが、現在全員が協力医療機関にかかっておられる。脳外科や耳鼻科や皮膚科に関しては今までのかかりつけ医にお連れしたり付き添いをご家族にお願いしている。	本人や家族の納得を得て、全利用者が協力医療機関にかかりつけ医としている。月1回の定期受診や月4回の訪問診療を受けている。他、本人や家族の希望する専門科へは家族の協力を得て受診を支援し、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31	北	(13) ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択は自由だが、現在全員が協力医療機関にかかっておられる。脳外科や耳鼻科や皮膚科等に関しては今までのかかりつけ医にお連れしたり付き添いをご家族にお願いしている。		
32	南	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を受けている。介護職はバイタルや気になる点を一覧表にまとめ看護師のアドバイスをもらっている。必要があれば看護師を通して医師に報告し受診ができるようになっている。特変時はその都度連絡相談ができるようになっている。		
32	北	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を受けている。介護職はバイタルや気になる点を一覧表にまとめ看護師のアドバイスをもらっている。必要があれば看護師を通して医師に報告し受診ができるようになっている。特変時はその都度連絡相談ができるようになっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	南	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成して職員も病院側に情報提供をしている。相談員を通して主治医やご家族と相談し、認知症が進行しないように早期退院に心がけている。		
33	北	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成して職員も病院側に情報提供をしている。相談員を通して主治医やご家族と相談し、認知症が進行しないように早期退院に心がけている。		
34	(14) 南	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化及び看取りの指針を作成している。契約時には説明と指針をお渡しして同意を得ている。看取りの事例はないが体調不良の都度ご家族と医師を交えて今後の対応の話し合いを行っている。	重度化及び看取りに関する指針を契約時に家族に説明し同意書を得ている。状態の変化に応じて早い段階から本人、家族、医師と話し合い、移設を含め方針を共有して、対応を検討している。関係医療機関や家族と協力して、本人や家族の思いに添った看取りの取り組みをすることとしている。	
34	(14) 北	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化及び看取りの指針を作成している。契約時には説明と指針をお渡しして同意を得ている。看取りの事例はないが体調不良の都度ご家族と医師を交えて今後の対応の話し合いを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	マニュアルを作成しており基礎研修やGH勉強会では急変や事故発生時の対応、事故防止について学んでいる。法人の応急手当推進委員会の研修があり、事業所では月2回の会議の後などに初期対応の訓練を行っている。また、事故が発生した場合はすぐに報告書を提出し対策を考え事故防止に努めている。定期的にインシデント検討会を行っている。	インシデント報告書に状況や発生原因、対応、改善策を記録し、事例検討を行い、介護計画に反映して一人ひとりの事故防止に取り組んでいる。マニュアルがあり、全職員が救急救命法の研修を受講している。法人の応急手当推進委員会で計画的に研修を実施し、内部研修や月2回のユニット会議時、訪問看護師の指導による訓練を実施し、実践力を身につけている。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	マニュアルを作成しており基礎研修やGH勉強会では急変や事故発生時の対応、事故防止について学んでいる。法人の応急手当推進委員会の研修があり事業所では会議の時など日常的に初期対応の実践訓練を行っている。また、事故が発生した場合はすぐに報告書を提出し対策を考え事故防止に努めている。定期的にインシデント検討会を行っている。		
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回の防災訓練を行っている。全事業所が役割分担を行い、計画から検証までを行っている。訓練の際には防災設備や避難ルートの確認をし、避難訓練には利用者様も全員参加している。地域の方にも運営推進会議を通して防災についての話合いや災害時の協力もお願いしている。	法人で年2回、消防署の協力を得て夜間想定を含む避難、通報、消火訓練を利用者も参加して行っている他、年1回、事業所独自に防災訓練を実施している。運営推進会議で防災対策を取り上げ市担当課や消防署と、地域との協力関係が築けるよう働きかけているが、十分とはいえない。	・地域との協力体制の構築
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回の防災訓練を行っている。全事業所が役割分担を行い、計画から検証までを行っている。訓練の際には防災設備や避難ルートの確認をし、避難訓練には利用者様も全員参加している。地域の方にも運営推進会議を通して防災についての話合いや災害時の協力もお願いしている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)南	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念を持って利用者様と向き合っている。接する態度や話し方は接遇研修で学んでいる。排泄介助や入浴介助などプライバシーが露わになる場面では特に気を付けタオルで隠したりむやみな会話は行わないようにしている。	法人研修や内部研修、接遇研修で学び、人格の尊重とプライバシーの確保について全職員が理解している。排泄時の配慮(トイレでの膝被いタオルの使用)や、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に心がけている。個人情報の管理や守秘義務について確保している。	
37	(17)北	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念を持って利用者様と向き合っている。接する態度や話し方は接遇研修で学んでいる。トイレ誘導も散歩のついでなどさりげなく行っている。居室やトイレなどに入る前は必ずノックをして入るようにしている。排泄の失敗やできない事に対してはさりげなく手を差し伸べて尊厳が傷つかないように配慮している。		
38	南	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	色んな場面(食事・入浴・行事)で選択ができる声かけを行っている。言葉で表現できない方は表情や態度で想いをくみ取っている。		
38	北	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	色んな場面(食事・入浴・行事)で選択ができる声かけを行っている。言葉で表現できない方は表情や態度で想いをくみ取っている。		
39	南	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝時間は本人のペースに合わせている。毎日の日課もその都度希望をお聞きし本人のペースで過ごしていただいている。		
39	北	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	要望が出た時にその都度支援が出来るようにしている。声かけも強制的にならないようにし、場面ごとに選択ができる声かけを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	南	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	今まで着てこられた服を持ってきていただきご自分で服を選んで着ていただいている。髪のはねやシャツの乱れはさりげなく整えている。美容師をされていた方は毎月移動美容室を楽しみにされており希望の髪型にセットしてもらっている。		
40	北	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回の移動美容室では、本人の希望に合わせてパーマや毛染めをしていただいている。朝や出かける前は一緒に服を選んだり、髭剃りのお手伝いもしている。お手持ちの化粧品で毎日お化粧をされる方もおられる。		
41	南	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に厨房へ食事を取りに行き、食事準備、配膳、片づけを一緒に行っている。畑で採れた野菜が食卓にあがることもある。季節のおやつ作りや漬物作りを計画し食べごろを楽しみにされている。	三食とも法人厨房からの配食を利用し、利用者は、盛り付けや配膳の準備、後片付けなどを職員と一緒にしている。事業所菜園で採れた旬の野菜や差し入れの食材を使って一品作ったり、おやつづくり(柏餅、餃子、おはぎ、寒もちなど)、らっきょ漬、梅干、干し柿等をつくるなど、食事を楽しむことの出来る支援をしている。中庭でのビヤガーデンやすいか割り、外食に出かけるなど食事が楽しみなものになるよう支援している。	
41	北	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事やおやつの時間は職員も一緒に座りお話を楽しんでいる。食事の盛り付けは一緒に行い、行事の時には男性の方も積極的に調理にされている。差し入れの野菜や畑で採れた野菜で一緒に酢物等を作ったりしている。季節のおやつ作りや漬物作りを計画し食べごろを楽しみにされている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42	南	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活の記録ファイルで食事量・水分量の把握をしている。嚥下の悪い方にはトロミを付けたり、固形物の摂取が難しくなった方には刻み食やミキサー食を提供している。その際は、必ず味見をしている。少しずつ形態を変えていき、機能低下が進まないように努めている。		
42	北	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活の記録ファイルで食事量の把握をしている。水分量は一杯120ccを目安に正の字でチェックし1日の水分摂取量の把握をしている。食事は3食とも管理栄養士による献立になっており、1日1500kcalを目安に作ってもらっている。咀嚼・嚥下が気になる方は食べやすい大きさにカットしたり水分にはとろみをつけてお出ししている。体調不良時は粥等を用意して無理なく食事と栄養が摂れるように支援している。		
43	南	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入眠前はその方に応じた口腔ケアの支援を行い誤嚥性肺炎の予防に努めている。会話の時にさりげなく汚れや臭いを確認して口腔ケアの見直しを行うようにしている。また、毎週火・土曜日は歯科医等による口腔ケアがあり義歯の洗浄や口腔状態の確認、顔面マッサージなどを行っている。		
43	北	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入眠前はその方に応じた口腔ケアの支援を行い誤嚥性肺炎の予防に努めている。ブラッシングが困難な方には棒付のスポンジで口腔ケアを行っている。また、毎週火、土曜日は歯科医等による口腔ケアがあり義歯の洗浄や口腔状態の確認、顔面マッサージ、必要時に治療などを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居時は排泄チェック表を用意しその方の排泄パターンを把握するようにしている。個人に合わせてトイレ誘導の時間を決めトイレでの排泄ができるように支援している。背中でのマッサージを行い排泄を促しパットの汚染が少なくなった方もおられる。汚れたパンツをタンスになおされる方には蓋付バケツを居室に用意しご自分で着替えができるようにしている。	排泄チェック表を活用してパターンを把握し、利用者の生活リズムに合わせて声かけをして、トイレでの排泄ができるよう支援している。	
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居時は排泄チェック表を用意しその方の排泄パターンを把握するようにしている。個人に合わせてトイレ誘導の時間を決めトイレでの排泄ができるように支援している。急にうろうろされたり、おならが出たり、その方の排泄サインを把握しタイミングよくトイレ誘導ができるようにしている。また、トイレトーパーを使われなくなった方に「落とし紙」を用意すると使われるようになり、自立に向けた支援を行っている。		
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲み物にはオリゴ糖を使用したり牛乳寒を作ったり、運動もかねて散歩も行っている。介助が必要な方でも便座に座っていただきマッサージやホットパックを使用しトイレでの排泄を促している。排便チェック表で有無を確認できるようにし便秘の早期発見に努めている。		
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲み物にはオリゴ糖を使用したり、起床時の冷たい牛乳やホットパックを使用したり、運動もかねて散歩も行っている。介助が必要な方でも便座に座っていただきマッサージをするなどしてトイレでの排泄を促している。排便チェック表で有無を確認できるようにし便秘の早期発見に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20) 南	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日14時から時間を設けており本人の希望に沿いながら入っていただいている。入浴剤を使用したり、冬至の日にはゆず風呂に入っていた。体調不良の時には状態に応じて、清拭、足浴、手浴を行っている。	14時から20時までの間、本人の希望する時間に毎日入浴できるように支援している。本人の希望や状態に合わせてシャワー浴や足浴、手浴、清拭の支援をしている。季節により、柚子や菖蒲、入浴剤を入れて入浴を楽しめるように工夫している。入浴したくない人には部分浴で気分を変えてから入浴を勧めたり、職員を代えるなどして一人ひとりに合わせてゆっくりと入浴が楽しめるよう支援している。	
46	(20) 北	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日14時から時間を設けており本人の希望に沿いながら入っていただいている。冬至の日にはゆず風呂に入っていた。歌がお好きな方は一緒に歌ってもらったり音楽を流したり入浴中も楽しんでもらっている。		
47	南	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝寝がお好きな方にはゆっくりしていただいている。空調管理はこまめに行い、心地よい空間で休んでいただけるようにしている。リビングでもソファでゆっくり休息できるようにひざ掛けを用意している。体調不良の方の居室には加湿器を置き、健康面にも配慮している。寒がりな方には湯たんぽを用意したりしている。		
47	北	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝寝がお好きな方にはゆっくりしていただいている。空調管理はこまめに行い、体調不良時には加湿器を使ったり、寂しくならないように音楽を流したり、心地よい空間で休んでいただけるようにしている。リビングでもソファでゆっくり休息できるようにひざ掛けを用意している。お家で湯たんぽを使用されていた方には安全に使用して頂けるようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	南	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活の記録ファイルに薬情をとじ目的や副作用が把握できるようになっている。変更等があった場合は連絡帳に記入し全員が確認している。与薬マニュアルに従い声に出して確認するなど誤薬防止に努めている。状態変化があれば看護師を通して医師に相談するようにしている。		
48	北	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活の記録ファイルに薬情をとじ目的や副作用が把握できるようになっている。変更等があった場合は連絡帳に記入し全員が確認している。与薬マニュアルに従い声に出して確認するなど誤薬防止に努めている。状態変化があれば看護師を通して医師に相談するようにしている。		
49	南	(21) ○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで仕事で書き物をされていた方には毎日献立表を書いていただいたり、料理が得意な方には野菜を切って頂いたりしている。水彩画を趣味にされている方にはスケッチブックと題材を用意し誕生日会の色紙作成をお願いしている。おやつ飲み物は好きな物を中心にお出ししている。利用者様同士の声かけで運動をされている方もおられる。	新聞、雑誌、本を読み、習字、テレビ観賞、ラジ体操、野菜の収穫、お菓子づくり(おはぎ、柏もち、お好み焼き、桜餅、かきもち)、らっきょ漬、大根漬づくり、梅干づくり、干し柿づくり、蒔の筋取り、レッドコード(全身運動)など、活躍できる場面をつくり、楽しみごとや気分転換等の支援をしている。誕生会や季節の行事(ビヤガーデン、ソーメン流し、文化祭、法人の秋祭り、お月見、クリスマス会、餅つき、書初め、節分など)で家族や職員、地域の人と一緒に楽しめるよう支援している。	
49	北	(21) ○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	俳句の本を出されていた方には、誕生日会や季節行事に一句詠んでいただいたり、ご主人が車の仕事をされていた方と駐車場へ散歩に行き車の名前を教えて頂いたり、文化祭の時にお茶をたてて頂いたり、麻痺がある方でも片手でおしぼり丸めが出来るように支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は近所や近くの神社へ散歩に行っている。ご家族と一緒に1泊旅行に行かれた方もいらっしゃる。外出行事では馴染みの場所へ出かけられるように配慮している。ご主人様と一緒に散歩やドライブ行かれる方もおられる。娘様の家でパーマをかけてもられる方もおられる。	近隣の散歩、スーパーや商店での買物に出かける他、季節の花見(梅、桜、つつじ、バラ、紫陽花、もみじなど)や土筆採り、いちご狩り、ほたる祭り、お雛様巡り、ドライブ(埴生、キララビーチ、長府)、家族との日帰りバス旅行など戸外に出かけられるよう支援している。地域の神社の春祭り、納涼祭、天神秋祭り、初詣、寝太郎祭り、保育園の行事など、季節や地域の行事に合わせて地域の人と交流できるよう外出の支援をしている他、家族の協力を得て、外出、外泊の支援をしている。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は近所や近くの神社へ散歩に行っている。ご家族と一緒に食事会や買い物、ドライブにも行かれている。外出行事では馴染みの土地へ出かけられるように配慮している。ご家族と友人にあいさつ回りに行かれたりしている。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望のある方はご自分でお財布を持っていたき、売店や買い物の時にご自分で支払いをされている。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望のある方はご自分でお財布を持っていたき、週1回のパンの移動販売や売店や買い物の時にご自分で支払いをされている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	南	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持たれている方もおられる。家族や友人の手紙を楽しみにされている方もおられる。事業所に電話がかかってきた時には電話口に出てもらっている。		
52	北	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所に電話がかかった時には電話口に出て頂いている。携帯電話を持たれている方もいらっしゃる。家族や友人からを楽しみにされている方もおられる。		
53	南	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビング、廊下には季節のお花を生けている。たくさんある窓からは朝日や夕日を眺めることができ、気候の良いときには中庭の全面オープン窓を開け心地よい風を感じていただいている。掃除や換気も毎日行い、トイレの臭いや汚れが放置されないようにしている。	中庭のウッドデッキを囲むように2つのユニットが回廊式につながっている。対面式キッチンに接するリビングにはテーブルや大型テレビ、ゆったりとしたソファを配置している。大きな窓からは明るい日差しが差し込み、広い廊下には、椅子やソファを置き、里山や畑、建物、新幹線などの風景と季節の移り変わりを利用者が思い思いの場所でくつろぎ楽しめるよう工夫している。菜園には、トマトの苗を植えて成長を楽しみにしている。玄関や室内には季節の花を飾り、絵画や装飾品で温もりのある空間となっている。トイレや浴室も清潔に整頓しており、温度や湿度に配慮して、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53	北	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビング、廊下には季節のお花を生けている。たくさんある窓からは朝日や夕日を眺めることができ、気候の良いときには中庭の全面オープン窓を開け心地よい風を感じていただいている。乾燥を防ぐ為リビングには加湿器を置いている。掃除も毎日行い、トイレの臭いや汚れが放置されないようにしている。照明は暖色系で落ち着いた光になっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	南	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下には座れるソファを置き気の合う方とおしゃべりを楽しませている方もおられる。また、新幹線や夕日の見える窓辺にはテーブルとイスを置き、コーヒーを飲みながら違うユニットの方とお話し交流の場となっている。		
54	北	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下には座れるソファを置き気の合う方とおしゃべりを楽しませている方もおられる。また、一人掛けのソファで読書を楽しまれたり、天気の良い日は日向ぼっこをされている。違うユニットの方と談話室で意気投合し交流されている場面も見かける。		
55	南	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、お部屋づくりのお話をして新しいものではなく家で使い慣れたダンスや鏡台を持ってきていただいている。昔の写真や趣味の水彩画などの作品を飾っておられる方もいらっしゃる。	使い慣れたダンスや鏡台、机、椅子、ソファ、ベッド、テレビ、鏡、時計、衣類や雑誌、化粧品、日用品など好みのものを持ち込み、利用者の作品である書の掛け軸や衝立、さげもん飾り、花、家族の写真やぬいぐるみなどを飾り、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
55	北	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、お部屋づくりのお話をして新しいものではなく家で使い慣れたダンスや鏡台を持ってきていただいている。曾孫や亡くなられた奥様の写真を飾っておられる方もいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
56	南	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所内は全てバリアフリーとなっている。広い廊下には手すりがあり安全に歩行ができるようになっており、トイレにはその方の能力に合わせて使用ができる介助バーが設置されている。また、トイレやお風呂の表示は高さや大きさや読み方を工夫し分かりやすくしている。中庭では洗濯物が干せるようになっている。		
56	北	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所内は全てバリアフリーとなっている。広い廊下には手すりがあり安全に歩行ができるようになっており、トイレにはその方の能力に合わせて使用ができる介助バーが設置されている。また、トイレやお風呂の表示は高さや大きさや読み方を工夫し分かりやすくしている。中庭では洗濯物が干せるようになっている。		

2. 目標達成計画

事業所名: グループホーム咲花

作成日: 平成 25年 9月 25日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	36	災害時における地域との協力体制が不十分である。	災害における地域の協力体制が出来る。	運営推進会議の参加者(近隣の自治会長、民生委員、家族の代表、市の担当職員等の方々)に防災について意見をいただき、実際に施設の避難訓練に参加していただく。	1年
2	35	急変や事故発生時に備えて、応急手当や初期対応の訓練の実施は出来ているが、すべての職員が実践力を身につけていく必要がある。	応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、全ての職員が実践力を身につけることが出来る。	法人で応急手当推進委員会を立ち上げ、誤嚥・窒息の手技は1年間繰り返しやってきた、今後も継続して徹底していき、出血・表皮剥離・骨折等の処置・手当を新たに応急手当推進委員会で一人ひとりに講習、訓練をする。その講習をいつ受けたか、一覧表を作成し、講習もれのないように徹底する。グループホーム勉強会でも随時訓練をする。月2回ある法人の研究会でも緊急時の対応の講習、実技をする。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。